

発行日 平成8年10月31日
発行所 江別市生涯学習推進協議会
編集人 広報小委員会(春日 基)
連絡先 江別市教育委員会生涯学習担当
〈高砂町24・381・1062〉

第2回 生涯学習フェスティバルえべつ

— アイヌ文化を学ぶ —

神々とともに、自然とともに

— 詞曲舞踊団「モシリ」公演 —

11月17日

アイヌ文化を学ぶを主題とした第二回生涯学習フェスティバルえべつ、只今開催中です。江別市生涯学習推進協議会の主催によるフェスティバルの目玉は、アイヌ詞曲舞踊団「モシリ」パフォーマンス。この「モシリ」、テレビでも幾度か放映されており、ご存じの方も多いと思いますが、彼らの歌い舞う世界は「アイヌ民族の伝統譜をこえて、21世紀の世界に向かう人類共生

の讃歌」(映画監督・千葉茂樹)と絶賛されています。シンセイザイザとムックリ(口琴)の共演など、現代精神と原初の魂の融合、そして超克が予感される、きわめて刺激にみちた舞台です。
▽11月17日(日)13時開演
▽市民会館大ホール
▽大人2千円、高校生以下千円(全席自由、当日500円増)
▽市民会館・各公民館にて発売中。ぜひお越しください。



第2回生涯学習フェスティバルえべつ

フェスティバルのもう一方の柱は、自分の手で触れ、体験するための「アイヌ文化伝承講習会」ユカラからサラニブまでです。この講習会は、10月22日から同25日まで中央公民館で開催されました。受講生は、まず、札幌学院大学の奥田統己先生による、アイヌ文化の歴史的流れや現状についての講義を受け、その後、好みに応じて各講習会に参加しました。講習会は次の三つ。(a)アイヌの民話「カムイユカラ」(ウタリ協会千歳支部 中本ムツ子先生)、(b)口琴「ムックリ」(アイヌ民族博物館 新井田幹夫先生他)、(c)アイヌのポシエツト「ボンサラニブ」(道ウタリ協会 津田命子先生)。どれも、北海道に住む我々にとっては、一度は目や耳にしたことがあるものですが、学ぶ機会はないと、なかなかの歴史が現状です。限られた時間内では、理解を深めるとまではいかなくても、その糸口には充分なりえたと思います。

受けつごう 民族の伝統



ムックリ(口琴)に挑戦しました。

寄稿 日々楽しむ私の生涯学習



山岸 哲男さん

野も、また社会に及ぼす功罪をも會得する知識が得られるものである。

人生は、何かをして毎日を送っているものである。いま、素直に私の過去を振り返りかえってその足跡を想いおこしてみると、あるときはそれなりの学業に、あるいは仕事に、または趣味に全力を傾けて没頭した時代もかなりあったと想う。しかし、その結果は満足することがあらず、かつ、その足跡にいまなお恥じることが多い。

もう一步の心

勘案するに
も、その、
もう一步の

果は満足することがあらず、かつ、その足跡にいまなお恥じることが多い。

こうした経験を積み重ねて、自然に培われたことは、物事に対する観る目であり、探究する心であると記憶している。物事を観察し、あるいは分析する場合、もう一步ふみこむ心があれば、必ずその判断に好結果が生まれる。その内容によって人は、物・金に波及する分

野も、また社会に及ぼす功罪をも會得する知識が得られるものである。

いま、私は自治会などいくつかの社会福祉に関する仕事に携わっているが、この「いま一步のふみこむ心」がことからの判断に大いに役立つ。

また、目下興じているグリーンボールにおいても、当然のことながらコース、芝の状態観察、打法の強弱等を

この心は、長い年月をかけて身についたものであるが、これは何事にも通じるし、結果は必ずといってよい程よい結果が生まれる。そして、それがより豊かな人生観をも生み出してくれている。ともあれ、私はこれを座右の銘としている。

(中央町自治会会長)



学ぶ心をもちつづけることが大切です。

映画と人生

皆さん「ダバダバダ・ダバダバ」というボサノバのリズムをよく街で聴くでしょう。

あれはフランス・レイが作曲したフランス映画「男と女」のテーマ曲で、もう二十八年も前の映画です。ストーリーの楽しさ、センスの良い台詞、リズム感、私の大好きな大好きな大好きな会なので、



土谷 茂樹さん

アヌーク・エーメの美しさ。私はこの映画をもう三十回近く見てきました。私の生涯学習は映画を見ることです。

映画、それも私はフランス映画が大好きです。映画はい

いろいろな人生を語り、人生の喜びや哀しみを教えてくれます。まだ訪れたことのない土地の風景を見せてくれます。素敵な俳優へのロマンも抱かせてくれます。なによりも映画によって私は自分の感性が育てられてきたと思います。

うな思いで出かけたものです。それから丸八年たち、色々なジャンルのお芝居を観てきましたが、それぞれに味わい深く、感動があります。舞台上の人生が自分の人生と重なる部分があったり、全く別の人生であったりしてもそれなりに考えさせられます。それがお芝居を観る楽しみではないかと思えます。

楽しい観劇

私は地域の婦人活動のお手

私は地域の婦人活動のお手



古川 淳子さん

江別に演劇鑑賞会ができたのは一九八八年でした。演劇鑑賞会は会員制で演劇を観る

私は子供の頃からお芝居見物が好きでしたが、それまではなかなか機会に恵まれず、時折テレビで放映される舞台中継を観るだけでしたので、この江別で生のお芝居が観られるという事に感激しました。初めての例会は渡辺美佐子の「化粧」でワクワクするよ

私は地域の婦人活動のお手

(江別演劇鑑賞会会員)

江別更正保護婦人会

草野 玲 (会長)

江別更正保護婦人会は、昭和四十一年五月に保護司会の裏方としてわずか十数名から発足し、現在は大久保美枝顧問を先頭に、会員八十人、賛助会員二百人のボランティア団体です。今年で設立三十周年を迎えました。

ました。特徴的な活動として、地域社会と密着しながら長年続けて参りましたが、江別市内各中学校生徒の標語を募集して立看板と標語入り割り箸をつくり、お祭りや学校祭などで販売しております。また、各地区においてミニ集

さを学び、母の心になり、ミニ集会の輪を広げて犯罪の少ないまちづくりを市民の皆さまと共に歩んでいきたいと願っております。

母の心で犯罪の防止改善

ひまわりは、そんな私たちの願いをこめたマークです。

直りの援助などをして、一般社会に送り出すというボランティア活動を行っております。

でやっております。江別更正保護婦人会は、学びながら、また楽しみながら

会に関するお問い合わせは 文京台2-1-5 草野 玲さん 387-0606 までどうぞ

裏方が表に出て保護司会の両輪として活動することになり

の心の豊かさや人々に奉仕でき喜びと、また心の大切

までどうぞ

会員の募集

江別市生涯学習推進協議会では、加入団体を募集しております。現在、市内の活動内容、規模とも様々な団体、79団体が加入し、学習機会や情報の提供を行っております。日頃生涯学習を実践している皆様とともに、より一層の発展をめざしていきたいと存じます。

〈事務局〉市教委生涯学習担当 ☎381-1062

メンバー募集

〈江別竹豊会〉

心の豊かさを求められる時代です。江別竹豊会で日本の民謡を尺八を通して一緒に楽しませんか。初心者歓迎いたします。詳細は☎384-5386竹豊会幹事の加藤さんまでどうぞ。

〈郷土資料館友の会〉

あなたも入会しませんか。会員には、入館料免除、会報のお届けなど、多くの特典があり、学習会にも参加できます。普通会員は年会費3千円。詳細は資料館☎385-6466までどうぞ。



恒例行事のひとつ「割りばし販売」

講演・音楽に700人

紅ライフトーク'96

今年で7回目を数える恒例の「紅ライフトーク'96」が8月22日開催されました。生涯学習推進協議会と同実行委員会の共催によるこのつどいには、あいにくの雨にもかかわらず大勢の方が参加し、音楽と講演を楽しみました。

江別弦楽アンサンブル17名によるクラシックの弦楽合奏で幕が開き、講演は北大工学部の小林三樹氏による「世界の街と江別の街」。隣人関係を大切にしたい暮らしやまちづくりを提言しました。参加者は、妙なる音色とダイナミックなお話に、満ち足りた気分であつた会場をあとにしました。



世界に目を向ける時代です

自然との共存をもとめ

第2回生涯学習講座終わる

推進協議会、江別ホテルの会、江別きれいな風の会の共催による、第二回生涯学習講座「自然環境と市民生活」が10月5日(土)終了しました。9月7日から毎週土曜日、一カ月にわたり、野幌公民館

で開催されたこの講座には約八十名の参加申込がありました。五日とも会場は満員の受講生で溢れ、環境問題への関心の高さがうかがわれました。講師陣は、それぞれの分野の第一線で活躍中の次の五名

自然環境と市民生活

です。

- ・北海道大学地球科学研究所 教授 小野 有五(樹木)
- ・旭川大学経済学部 講師 浅田 英祺(治水)
- ・北海道文理科短期大学 学長 坂本 与市(虫)
- ・自然環境研究室 主宰 鮫島惇一郎(森)

緑や川が私たちに与える影響、自然と共存するための工夫、また、自然とのつきあいや楽しみ方、さらには、未来の世代へ何を残すべきかなど、あらためて考え直すことが必要です。その答えは、受講者の記憶にしっかりと残ったことでしょうか。この生涯学習講座は年一回の開催ですが、来年度以降も現代的学習課題をテーマに開催の予定です。どうぞ、ご参加ください。

私の宝物

ぬいおぼあさん

長屋 淑子

心に不平不満が湧いたり、他人に憎しみを感じたり、

愛に溢れた心で一日一日を大切に生きていく姿を描いた作品です。作品の中に登場する、「ぬい」というおぼあさん。その口から語られる言葉の一言一言が思慮にあふれ、温か

に会いたくなり、太陽に向かって合掌し、土に感謝して、全ての命をいとおしみながら、怒らず、憎ま

たとき、手にする小説があります。第一部が昭和三十四年に発行され、現在、第七部まで発行されていますが、まだ完結して



に会いたくなり、太陽に向かって合掌し、土に感謝して、全ての命をいとおしみながら、怒らず、憎ま

いない大河小説、住井すえ作『橋のない川』がそれです。明治時代末期から大正時代の

く、力強く、人としての生き方を示唆しているように感じるので

で暮らす人々の心の成長ぶりに触れさせてもらいな



市内学習ポイント④

サンワークえべつ

鉄南地区に二年前オープンしたサンワークえべつをご存じですか。勤労者の福祉を目的とした施設ですが、もちろん

また、一般参加の卓球や書道教室、各種講習会も開催し、学ぶ機会も多数用意



サンワークえべつ位置図

市長賞

102歳新谷さんみごと獲得

第一回 えべつ老年の主張大会報告

地域社会と私たち

目の前にきた高齢社会に備え、高齢者がどう生きていくべきかを考えてもらおうと、10月17日(木)、市民会館において主張大会が開催されました。

場のすみずみまで深い感銘を与えました。八名の発表は甲乙つけがたく、審査は困難をきわめました。結果、一席市長賞は一人は大切な健康を保持することができれば、高齢者でも生きがいを感じながら地域社会で目標を達成できると信じています」と語った市内最高齢一〇二歳の新谷さんが受賞しました。



「まだまだこれからです」と新谷さん

熱弁をふるった八名

- ▽老連会長賞：小田島芳雄(71) 「未知への挑戦」
- ▽優秀賞(五名)
 - 菅 茂(75) 「喜怒哀楽の円形軌道」
 - 斉藤百合子(71) 「三育シルバー」
 - 堀吉輝(71) 「拜啓江別市長様」
 - 岡田嘉太郎(74) 「我が人生に万歳を唱えるために」
 - 清水滋也(72) 「江別に目玉が欲しい」

編集後記

早いもので、もう11月になります。今年の初雪も、もうそろそろですね。雪といえば、いま、家庭用

ロードヒーティングや融雪槽の売上が急激に伸びているようです。やっぱり、去年の大雪が相当こたえたんですね。でも、こどものように楽しく雪と付き合いたいです。